

りろびるば

一般社団法人 大垣青年重役会

第 47 年度 第 1 号 平成 24 年 8 月 25 日発行

第46年度スローガン『公の心を持ち、私業の本分を尽くそう!』

第46年度8月最終ゆかた 例会

『岐阜グランド<mark>ホテル』</mark> にて、ゆかた例会開催

8月9日、恒例のゆかた例会が開催されました。 第46年度をもってご卒業される増田典晃会員を 講師としてお迎えしご講演していただきました。 OJBの活動の思い出とともに、経営者としての 経験を、ユーモアを交えながら熱く、優しく 語られました。



『増田典晃という人』 渡部 弘幸

「渡部君 幹事長 頼むわ」第36年度の7月20日、増田さんと私の共通の顧客方の駐車場でお声を掛けていただいた。ちょうど十年くらい昔のことだ。

増田さんとは会社も自宅も近所、そして私の同級生のお兄さんということ、OJB に入会する前からご縁はあったと思う。

増田さんが OJB で研修委員長をされた後、私が研修委員長をさせていただいた。 増田さんが例会幹事をされると、その後、第 35 年度川瀬会長 増田幹事長の下、私も例会幹事を任せていただいた。そして、第 38 年度 増田会長の下で私は幹事長を経験させていただいた。つまり、増田さんが歩まれた道をそのまま私はたどってきたことになる。 増田さんは、とてもスマートな方だ。見た目もスマートである。かっこいい。見た目のスマートの影では、近所の公園を淡々と走るなど他人の知らないところで努力をされている。また思考も大変スマートな方で、まず始めにタイムスケジュールを考え、時間に余裕を持って物事をこなす。そして何事にも決して無理強いはしない、必ず外堀から埋めていく。しかし、何かに突き当たってどうしても無理な場合は、瞬時に 180 度考えを変える柔らかさと勇気を持っている。

第38年度のある役員会の時、役員会直前に増田会長が急用にて休まれるということがあった。 私は幹事長として、役員の前では平静を装っていたが、内心ひどく心もとなく思っていた。 幹事長時代に、常に安心して OJB 活動に取り組むことができたのは、いつも増田さん が支えてくださったお陰である。今更ながら心より感謝申し上げます。

増田さんは、土屋顧問とはとても気が合う。大垣共立銀行の土屋頭取に QJB の顧問を引き受けていただいてもう十年以上の年月がたつが、共立銀行本店 14 階(何階だったか記憶に自信がないが)にて土屋顧問と一緒にランチをされたのは、増田さんだけである。私も幹事長としてご一緒させていただけたのは、私の忘れられない光栄な思い出の一つである。

講師の先生宅に一緒に講演の依頼に伺ったこと、OJB スクールの打ち合わせを二人で何度もしたこと、研修旅行で一緒に夜遅くまで飲んだこと、どれもついこの前の出来事のように思い出される。そんな増田さんが、卒業された。私は「ご卒業おめでとうございます」と言いながら、とても寂しい。卒業された後も、こんな出来の悪い弟子にますますのご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。





「増田先輩ありがとうございました」佐竹 紀皇

増田先輩、ご卒業おめでとうございます。

私は38年度の増田先輩の会長の時に、先輩に誘われて OJB に入会しました。その当時、色々な会からお誘いは ありましたが、増田先輩から、「大変、勉強になる会だから、僕が会長をする時に入会してほしい。」と言われ入会しました。今では本当に感謝しています。今まで勉強できなかった事、そして素晴らしい会員との出会い、何もかもが、今の私にとってはプラスになることばかりです。また、増田先輩のお話は、いつも皆さんの気持ちを和ませくださり、ほほえましくなります。時にはドキドキもしますが・・・。でも私はそんな増田先輩のコミュニケーションの能力にはいつも感心させられます。卒業されるとさみしくなりますが、機会がありましたら色んな話を聴かせてください。本当にありがとうございました。

特別会員認証状授与式





松本会長より増田会員へ特別会員認証状が授与されました。 今後とも OJB 発展のために ご指導ご鞭撻をお願い致します。

第46年度会長から第47年度会長への引継式



松本会長 最後の挨拶



会旗は、しっかりと浅野新会長へと 受け渡されました。



浅野新会長 初めての挨拶

ゆかた例会懇親会













ゆかた例会懇親会

ゆかた例会2次会

いつもと一味違う楽しい企画が盛りだくさん。

会員同士の絆が深まりました。



◇とき・・・例会終了後 21:30~23:00

◇ところ・・・すもう ◇出席者・・・・33名



会員親睦委員会の皆さん、 一年間お疲れ様でした! 楽しい企画を ありがとうございます。





第46年度~第47年度 新旧役員引継会



◇と き・・・・7月23日(月)

18:30~21:00

◇ところ・・・・鈴乃屋

◇出席者・・・・29名

次年度へ向けて心構えなど 励ましの言葉を頂きました。

新入会員説明会



新入会員説明会に8名の候補者にご参加いただき、 より一層OJBに関心をもっていただきました。

47年度の新入会員は、説明会後に1名増え合計9名となっています。

◇と き・・・・7月26日(木)

19:00より

◇ところ・・・・奥の細道むすびの地記念館

◇出席者……20名





『第 46 年度を振り返って』

会長 松本 正平

まるごと松本正平という人間をさらけ出すことができた1年じゃないかと思います。入会当初から何時かはやりたいと思っていた会長を、夢中で、文字通りに夢の中にいるかのように行うことができました。

北野幹事長を始めとする役員は、期待以上に優秀で、しかもモチベーションも高く、まとまりがあり、こんなスタッフばかりならどんな会社もうまく行くだろうと思います。だから僕は自分そのものを出していれば良かったのです。この1年は僕以上にもできないし、僕以下にもなりませんでした。会員の皆さんが満足していただけたなら幸いですし、不満であれば僕の完全な力不足です。

幸せな1年間を過ごさせていただき、本当に感謝しております。会長が一番研修できるというのは本当ですね。OJBは改めているんな意味での研修の会だと実感できました。この素晴らしい組織を作り上げてこられた先輩方に感謝し、今後のOJBには少しでも恩返しできるよう頑張りたいと思います。1年間ありがとうございました。

『第 46 年度を振り返って』

副会長 浅野 信哉

第46年度松本会長の下、特に会長を見つめながら、 一年研修させていただきました。皆さんご存知の通り、 会以外でも大変活躍されている松本会員。この方の会長 振りを間近で感じることができたことが、なにより良い 研修となりました。必要なものそうでないもの、変える もの変えてはいけないもの、全てに根拠のある判断をされ、グリップの効いた采配を振るわれた姿は、我われた 勇気を与え、役員のモチベーションをいとも簡単にとされ、 がよりました。また、役員も各々の立場で活躍をさに てしまいました。また、役員も各々の立場で活躍をさに にたっていき、活動全てにおいて良い研修、そして 反対をおさめることができたのだと思います。役員、 会員の 皆様に、良い研修の場をいただきました。心よりお礼申 し上げます。ありがとうございました。

『さらば、役員会。』

直前 会長 平野 宏司

OJBでは「役員会こそ研修の場」という。なるほど 普段の例会も、懇親会も、そして旅行もすばらしい研修 だが、普段の職場での立場とは違った自分を試す修練は、 役員会をおいて他にない。直前会長をさせていただいた 46年度は、そのことを痛感した一年。自らの職場ではま だ考えたこともない「引退」を経験できたことは大きな 収穫だった。後に続く優秀な役員達のためになれたかと 考えると甚だ心もとないが、最後の役員生活をすばらし い会長と役員の方々と共に送ることができたことは幸せ の一言に尽きる。さらば、役員会。皆さんに感謝。

『合縁奇縁』

監査役 大橋 誠治

やはり最初に想うことは、松本会長より第46年度の 執行部役員というご縁をいただき、素晴らしいメンバー と一年を過ごさせていただいたことです。

同じ目的の為に、あるいは同じ喜びの為に一丸となって 取り組む。まさに当会が求めている一つの活きた研修そ のものかと存じます。

執行部役員という括りでは通算で7年ほど、それぞれの年度でご縁をいただき、私自身、恵まれていることに本当に感謝いたします。

本年度は監査役を仰せつかり、物事に対する立ち位置を常に考えていました。

不変的な会の伝統や精神、環境や構造変化による会の新進、変革、法人化スタート等の絡み合う背景を感じながら、今、注視すべき所や発信すべきこと、核心は何なのかを一年通して常に意識していました。

役員が躊躇していることや伝えにくそうにしていること など、本質や本音は何なのか?

監督と検査(監査)を状況や環境が異なっていても冷静 に判断しようと心がけていました。

そう実践していくと、今までとは違う切り口を発見でき、 さまざまな視点や感覚が大事であると痛感させていただ き、勉強させていただきました。

また、最終ゆかた例会時には監査役の私まで胴上げを していただき、感無量でした。おそらく生涯忘れること は無いでしょう。

引き続き来年度もOJBライフを楽しみながら、自己研 鑽していきたいと存じます。

更なる皆様からのご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上 げます。有難うございました。

『第 46 年度を振り返って』

幹事長 北野 英樹

幹事長という仕事に対して皆様はどんなイメージを 持っているでしょうか。傍から見ていると大変そうです よね。もちろん大変な仕事ですが、結構何とかなるもん なんです。常に会長が方向を示してくれます。経験豊富 な直前会長、副会長、監査役の方々が絶妙なタイミング でアドバイスをして頂けます。頼もしい幹事の方々が支 えてくれます。委員長、副委員長達が積極的に活動をし てくれます。

そんな素晴らしい環境で仕事が出来るのです。幹事長しか出来ない経験もいっぱいあります。1年ちょっとの間、本当に貴重な経験をさせていただきました。少しは成長できたんじゃないかと思っております。

幹事長という役を与えて下さった松本会長、ありがとうございました。そして、常に助けていただいた執行部・役員の皆様、ありがとうございました。協力して下さいました会員の皆様、ありがとうございました。

46th

『第 46 年度を振り返って』

例会幹事 久世 研二

第46年度無事役員を終えることができました。役員 また会員の方々には、感謝しています。松本会長から執 行部役員のお話をいただいたときは、内心不安もありま したが、納得のいく年度にしようと思いお受けしました。 委員会の役員の時とは違い会のことがより分かるように なったと同時に、執行部の大変さが身にしみました。し かし例会・各行事をこなしていくにつれて、楽しみも沸い てきました。

研修委員会担当幹事としては、委員長 副委員長と共 に岐阜経済大学野松先生にお会いし講演で拝聴した以外 のさまざまな話題を語ることができました。

例会幹事としては、やれることはやったと感じていますが、ただ幹事長の補佐役といった面では、力不足でご 迷惑をかけたのではと思います。執行部役員として今年 度学んだことは、人に物事を頼むときには、『態度・心 の姿勢・言語』がひじょうに大事であることです。

今年度学んだことは必ず自分の糧になるよう心がけていければと思います。ご協力いただきましてありがとうございます。

『第 46 年度を振り返って』

広報幹事 山口 猛

まずもって、広報委員会の活動にご協力いただきましてありがとうございました。

この一年、数多くの経験をさせていただき、また、いろいろな研修もさせていただきました。

それらが身に付いたかどうかはさておき、活動を支えていただいた会員の皆様そして松本会長をはじめ執行部・役員の方々にはいろいろとご指導いただき感謝です。 ありがとうございました。今後も変わらぬご指導を。最後になってしまいましたが執行部として選任いただいた

『少しだけ無理をして生きる』

事に心より感謝致します。

会計 近沢 正

・・・・大変な無理だと続かない。大事なのはほんの少しだけ、 自分を無理な状態に置く。そしてチャレンジをし続ける事。・・・

会計と会員親睦担当幹事、入会4年目でのこの大役は私には無理のある役なのではないか、そう考えた事が46年度中何回もありました。その度に頭に浮かぶのは、この感想文の題でもある「少しだけ無理をして生きる」という言葉でした。

年度終わりの今、チャレンジをし続けた事で自分の世界が少しは広がっていったのではないか、1年前と比べて見える世界は少し違っているのではないか、そしてこれらこそが研修団体である大垣青年重役会の醍醐味なのではないか、これまでの研修でそう考える事が出来るようになりました。得た物を、「公」と「私」、両方に活かしていく事がこれからの研修です。

第46年度、チャレンジの機会を与えていただけた事 に感謝いたします。どうもありがとうございました。

『一年間振り返って』

研修委員会 委員長 安田 佑次

一年間、研修委員長を務めさせていただきました。 今までに数回役員を務めさせていただいておりまが、毎 回思うことは、非常に多くの事を勉強させていただいて いるんだな、たくさんの方々に助けていただいているん だなと実感させられます。

今年度も、研修委員長という役目で研修の機会をくださった松本会長をはじめ、執行部・役員の皆様、そしてご協力くださった大垣青年重役会会員の皆様、全ての方に感謝申し上げます。非常に多くの事を研修させていただいた一年間となりました。本当にありがとうございました。

『忘れられない46年度』

研修委員会 副委員長 江森 正

46年度、初めての役員として、研修副委員長を 1年間務めさせていただきました。最初松本会長より、 お話をいただいた時は、務まるかどうか不安でいっぱいでした。何をすればいいのか、何もわからないまま でのスタートでしたので、研修副委員長としての役割 を果たせたかというと、疑問が残るところもあります が、久世例会幹事、安田研修委員長に助けていただき、 なんとか無事1年務めることが出来ました。

この46年度の1年は私にとって、大変貴重な多くの経験、研修をさせていただく事ができ、一生忘れることの出来ない1年になりました。このような経験、研修をさせていただけたのも、松本会長をはじめ、執行部、役員、会員の皆様のおかげです。1年間本当にありがとうございました。

『第 46 年度を振り返って』

広報委員会 委員長 松田 俊治

年度初め、松本会長の「僕は劉邦になりたい。」と聞いた時、各委員会の役員が自分のできる事を全て出して、執行部がコントロールして整えるという今年度のスタイルが決まったような気がします。そのおかげでのびのびと委員会活動をさせていただきました。

ただ、途中椎間板ヘルニアで約2ヶ月間入院となり、皆様に大変なご迷惑をおかけしました。特に広報幹事と 副委員長そして助けていただいた永田会員には感謝してい ます。ありがとうございました。

至らない広報委員長に手を差し伸べて下さいました全ての皆様に感謝いたします。一年間ありがとうございました。



『私は今、幸せです』

広報委員会 副委員長 小川 智宏

先ずもって松本会長を始め、執行部の皆様、役員の皆様には一年間本当にお世話になりました。又、感想文や写真撮影に応じていただいた会員の皆様、有難う御座いました。役員を終えた今、率直な気持ちとして・・寂しい。この気持ちを分析すると、良い仲間に恵まれ、良い研修をさせていただき、とても充実した一年を過ごせた結果だと思います。

有難う御座いました。

引継いだ一年前、膨大なデータと資料で一瞬目が眩みました。実は私、P C 操作が苦手だったのです。しかし先日『P C の事なら小川君に頼めば良いよね』と某先輩にお言葉を頂戴しました。苦手な事に目を背けがちですが、苦手だからこそ立ち向かっていく気持ちが大切なんだと改めて気付かせていただきました。

最後になりましたが、一年間大らかなお気持ちで接していただいた山口幹事、松田委員長には感謝と敬意を申 し上げます。有難う御座いました。

『第 46 年度を振り返って』

会員親睦委員会 委員長 井納 宏自

松本会長ならび各役員の皆様1年間お疲れ様でした。 そして今年度、会員親睦委員会を努めさせていただき本 当に良い勉強をさせていただきました。副委員長の2人 をはじめ各役員の皆様に協力していただき感謝しており ます。会員親睦委員会は、飲んで語る会やゴルフコンペ、 家族親睦会、新入会員の勧誘など、とにかく皆様の前に 出る事の多い委員会ですので、西野副委員長や奥田副委 員長と、どうすれば皆さんに楽しんで貰えるのか、新入 会員の勧誘はどうすれば良いのか、とにかく打ち合わ せる事が多く、その時には担当幹事や他の委員会の方も こうすれば良いじゃないかとアドバイスをいただいたり、 手伝っていただけたお陰で46年度会員親睦委員会を無 事、終る事が出来ました。委員会テーマに掲げさせてい ただきました「絆」、少しは会員同士の絆を強める手伝い が出来たかと思います。奥田副委員長が来年度は親睦の 委員長として活躍されるので、今年度続けて来た事を引 き継いで、今年度以上に盛り上あがると信じております ので、今から楽しみにしております。本当に1年間あり がとうございました。

『出会いの感動』

会員親睦委員会 副委員長 西野 英乙

第46年度役員の役を務めさせていただき、誠にありがとうございました。

46年度は井納委員長より「絆」というテーマをいただき、 具体的にはコミュ葉書を始め、飲んで語る会、両コンペ、OJBスクール、家族親睦、研修旅行等、会員間の 繋がりを大切にして最終的には新入会員さんの入会に 繋げたいという思いでスタートをしました。

お陰様で多くの方と出会い、皆さんに助けていただき ながら無事に1年を終る事が出来ました。

最後に今年1年役員を引っ張っていただいた松本会長、執行部の皆様。委員会を越えてご指導や活動協力いただいた委員長、副委員長の皆様。こんな我儘ばかりで人の言うことを全く聞かない私に付き合って下さった井納委員長、奥田副委員長。皆様に出会えた事が私の一番の感動伝説でした。ありがとうございました。

『忘れられない46年度』

会員親睦委員会 副委員長 奥田 祐太郎

先ずは、ありがとうございました。松本会長はじめ 執行部の方、役員の皆様にはほんとにお世話になり感謝 しております。

第46年度の役員の打診を受けた時、前年より2年目の会員は副委員長をやるものだ、とよく言われていたので、割とすんなりハイといえたと思います。しかし始まってすぐ顔合わせ会、打ち合わせをしていくうちに、これは大変な事を引き受けてしまったなと、身が引き締まったものです。そして重役会の活動がこんなに時間と手間をかけて成り立っている事に気づき、会への理解が1年目とは比べ物にならないくらい深いものとなりました。そして、年度のスローガンの通り「公の心」を持つ事によりいかに一つ一つの事業を成功させるかという事を考えるうち、「私業の本分をつくす」時間の作り方、さらには皆さんとの調和すなわち絆も深まったように思います。

『第 46 年度を振り返って』

長期計画委員会 委員長 佐竹 紀皇

第44年度から話し合われてきた法人化をこの46年度に登記することができたことを大変うれしく思います。またその手助けができる委員会で活動できたことが、私にとって本当に良い研修をさせていただいたと思っています。松本会長をはじめ、執行部・役員の方には色々と協力していただきありがとうございました。何より中島副委員長には、本当によく動いていただきありがとうございました。感謝の一言です。また47年度も会計という立場で1年研修させていただきますが、皆様どうぞよろしくお願いします。

『第 46 年度を振り返って』

長期計画委員会 副委員長 中島 繁樹

今年度入会二年目の私が、長期計画委員会副委員長という大役を務めさせていただき、一年が過ぎようとしています。私の役員生活は、勘違いから役員顔合わせの集合時間に遅刻するという大失敗からはじまりました。その後もわけも分からずただその場にいただけの合同委員会、松本会長にご助力いただき、宮川先生にお越しいただいた第二回長計委員会、会員の皆さんと今後のOJBについて考えた第三回長計委員会等、失敗ばかりでご迷惑をお掛けしながら、佐竹委員長のご指導のもと何とかここまで務める事ができました。

そして、何と言っても二月二日の記念すべき一般社団 法人化に関わらせていただいたことは大変光栄であり、 勉強させていただきました。これは、法人化に携わられ た歴代長計の皆様、そして寺倉前委員長のお力が無くて は、不可能なことだったと思います。お疲れ様でした。

松本会長をはじめ執行部、役員、会員の皆様、一年間 暖かく見守っていただきありがとうございました。お世 話になりました。



Board

〇 浅 **・・ 浅野新会長にインタビューをさせて頂きました。

聞き手:広報委員長 田端 隆 書き手:広報副委員長 田中 真奈美 場 所: 浅野木材株式会社 事務所

いよいよ第47年度が始まります。 Q1. 今の心境をお聞かせください。

🗛 🖫 素直な言葉で表現すると、ドキドキ、ワクワク、ソワソワ な感じです。OJBの伝統と、歴史を考えると、会長を受ける ことは、とても重圧があり、自分にこなしていけるのか不安ばかり ですが、逆に何かを創りあげていける新鮮さも感じています。

また、第47年度の役員を引き受けて頂いた会員の皆さんと一緒 に、一年間活動できるのがとても楽しみです。

今まで何度も役員を経験している方には、経験を生かした「チカラ」 を発揮していただき、初めて役員を経験する方は、新しい「クウキ」 を吹き込んでいただきたい。「チカラ」と「クウキ」がうまく重なり 合って、47年度が盛り上がることを、期待してください。

第47年度のスローガン

不撓不屈 ~ゆるぎない信念を持って企業経営をしよう!~ には、どんな想いが込められているのでしょうか。

🗛 🛭 スローガンを考えた時に、なかなかうまい言葉やキーワー ドが浮かびませんでした。先輩方のスローガンを参考に見ている と、その年度の会長の思いが言葉に溶け込んで、さらに、読む人 の心の中に、染みていくようなものばかりで、自分の思いがうま く言葉にならないと悩みました。

しかし、ある先輩の言葉を思い出した時、ふっと気が楽になり、 このスローガンが出来上がりました。その思い出した言葉とは、「会 長が一番研修になるんだぞ。成功するよりも、それに向かってど う努力したかが大切なんだ。」でした。

会長が一番研修するなら、今、自分で足らないと思っている部 分をスローガンにしよう、そうすれば、一番自分が研修できると 考えるようになりました。

混迷の世の中で、何か自分の中に「芯」を持っていないと流さ れてしまうんじゃないか。考えや思いが常に変化していてリーダー シップがうまく発揮できるだろうか。そんな思いを払拭するべく、 「ゆるぎない信念」をスローガンに盛り込み、そして、「不撓不屈」 という強い心を持つことでさらに足もとが固まると考えてスロー ガンが完成しました。

今年度の例会や委員会活動で注目してほしい ところはどんなところでしょうか。

A ■ 例会などの講師には、「経営」さらには「生き方」に対し、 信念を貫いてみえる方々を、お招きしたいと考えています。 それらを心の中に持つようになったきっかけや、信念を持ち続 け、継続していくことの意味など感じ取ることができれば、経営 者として一つの大きな糧となっていくと思います。

委員会活動では、各委員会がスローガンをもとにさらに掘り下げ る研修をしたり、会員同士の、リアルな繋がりを強くしたり、より身 近なコミュニティーとしてのOJBを提供していこうと考えていま す。各委員会、委員長、副委員長の思いがどう活動に生かされてい くか、なにより役員の目の輝きに注目してください。

最後に会員の皆様に向けて、メッセージを お願いします。

若輩者が、会長をさせていただきます。私自身、年度を通 して研修を積んでいこうと意気込んでいます。どうぞよろしくお願 いいたします。そして、多くのご指導をいただくとともに会全体の 活性化にご協力お願いいたします。

会員皆様のOJBに対する気持ちをさらに高めていただき、 47年度を盛り上げ、そして未来の〇JBを創り上げていきましょう。

本日は、ありがとうございました。



ENEQUIDITAL AND THE STATE OF TH

今年のひろばは、一人でも多くの会員さんの声を反映させたいという思いで製作していきます。会員さんから「いいね!」と思うオススメ情報、(本、映画、お店など)を一言コメントと共にご紹介します。また例会で学んだ実践例なども積極的に取材いたします。

ドネーションのご紹介では文字だけでなく写真の掲載もします。会員さんの幸せをより伝わり やすくするためお子様の入賞など画像提供を広報委員会からお願いさせていただきますので 何卒、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。 広報委員会 委員長 田端隆



INFORMATION

委員会活動

●第1回飲んで語る会(親睦委員会)

と き・・・・・9月10日(月)21:45~23:45

ところ・・・・・ラウンジ 紫苑

大垣市本町1丁目71

TEL 0 5 8 4 - 7 4 - 3 0 0 1

会 費……4,000円

●合同委員会

と き……9月18日(火)19:00~21:00

(受付18:45)

ところ・・・・・玉子屋別館 玉辰楼

大垣市新田町2-95

(※バス利用者 東外側駐車場18:20集合)

会 費……5,000円

●合同委員会2次会(親睦委員会)

と き・・・・・9月18日(火)21:30~23:30

ところ・・・・スリーキャッツ

大垣市本町1-9ラビレット12ビル 3F

TEL 0584-74-7300

会 費……3,500円

◎第47年度会費納入のお願い◎

会費納入額 (上期)・・・・35,000円

(通期)・・・・70,000円

納入期限・・・平成24年9月28日(金)

ドネーション

●長期計画委員会

(佐竹 紀皇会員、中島 繁樹会員)

7月17日あづまや旅館さんにて開催された第3回長期計画委員会に多数の方にご参加いただき無事に終了しました。皆様のご協力ありがとうございました。

いいね!

●会員親睦委員会

(井納 宏自会員、西野 英乙会員、奥田 祐太郎会員)

新入会員説明会を無事に終わる事が出来ました。 ありがとうございました。

●北野 英樹会員

一年間、会の運営にご協力いただきましてありがとうございました。

●松本 正平会員

一年間、無事に会長のつとめを果たす事がで きたかと思います。ありがとうございました。

●増田 典晃会員

20年間お世話になりました。

9月総会にて第47年度概況資料および 8月31日配信(予定)の資料を使用します。 当日は、必ずで持参ください。